

会 議 録

会議名	令和3年度阿賀野市産業経済振興基本計画検討委員会
開催日時	令和3年12月3日（金）午前9時30分から 午前10時50分まで
開催場所	阿賀野市役所別館3階 303会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委 員 河村智幸、山際和弘、丸山正孝、小林和也、小柳浩 (6人中5人出席) ・ 事務局 商工観光課：相馬課長、小林課長補佐、遠藤観光係長、 丸山商工振興係長、星野主事、浅川主事 農林課：北見農林企画係長、渡邊農林振興係長
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 あいさつ 3 会長選出 4 議 題 (1) 取組計画の進捗状況について（公開） (2) その他（公開） 5 閉 会
非公開の理由	なし
傍聴者の数	0人
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 司会 小林課長補佐 2 課長あいさつ 相馬課長あいさつ 3 会長選出 委員自己紹介（名簿順） 阿賀野市産業経済振興基本計画検討委員会設置要綱第5条により委員の中から互選する。 小林委員から会長 丸山正孝委員との推薦発議あり。全会一致で承認される。 丸山会長から副会長 小林和也委員との推薦発議あり。全会一致で承認される。

4 議事	(1) 取組計画の進捗状況について
会 長 :	(1) 取組計画の進捗状況について事務局より説明をお願いします。
事務局 :	商工振興関連進捗状況について (資料により説明)
事務局 :	観光関連進捗状況について (資料により説明)
事務局 :	農業進捗状況について (資料により説明)
会 長 :	ご意見・ご質問ありますでしょうか。
A 委員 :	基本的に市が主体的に取り組んだものを記載しているのでしょうか。
事務局 :	平成 24 年に計画が策定され、その項目に沿って市が行ったことをご報告させていただきました。目標数値もないため、事業を実施したというご報告になります。
A 委員 :	例えば「阿賀野市産業経済振興基本計画取組計画に係る実施内容」の 7 ページで「同業種、異業種の交流と組織づくり」のところで当てはまるかなと思ったのが、我々のところで地域振興事業という形で平成 29 年～令和 1 年に支援したもので阿賀野市の異業種の方々が連携して、地域の魅力を磨いたり地域資源の活用をしていこうという動きで、「あがのフードキャラバン」というものが立ち上がり、今は自主的に活動されていますが、こういうものが載っていてもいいのかなと思ったのですが、今回は市が主体的に取り組んだことを載せているということでしょうか。
事務局 :	こちらについては、市が主体的に取り組んでいるもの、産業フェアについて実施主体は市ではないですが、市が補助金を出している取組みということで掲載しております。
事務局 :	本来であれば阿賀野のためにやっていることであれば、すべて網羅すればよろしいのですが、視点が行政主導ということになっております。
B 委員 :	この委員会自体がしばらくやっていなかったということですかね。私も初めて参加させてもらいました。中身を網羅している訳ではないので細かいことは言えないですが、そもそも 3 つの重点戦略がありますが、もともとどのような経緯で立てられたのでしょうか。重点戦略と他との濃淡が分からない。やっていること自体は、一生懸命取り組んでおられるということしか言えませんが、力をかけるというか、どこかに重点を置いてやるかということはとてもいいことなので、この 3 つに決めた経緯などを教えていただければこちらでも意見を言いやすいと思いました。
事務局 :	皆さんにお配りしたものが「基本計画概要版」です。基本計画そのものの経緯についてですが、検討委員会や専門部会を開催したりして、いただいた意見を踏まえ、計画策定時から 10 年間の社会経済動向も見据えた中で 3 つの戦略が必要だと、計画に落とし込んでいるものです。
B 委員 :	紆余曲折や十分な検討があつて、この計画を策定されたのかと思いま

	<p>す。それに対して、重点的に皆さんが取り組んだ内容などを見せていただければ、意見しやすいと思いました。</p> <p>私自身農業振興部門なのですが、6次産業化戦略ということは前から言われているのですが、同じような形で同じようなイメージで10年間続けてきていいのかなと思いますので、せっかく計画を立てたのであれば見直しして修正して、取組自体をPDCAサイクルで回していったほうがよかったのかなと思いました。</p>
事務局：	<p>本計画は目標値もない計画になっているため、総合計画に引き継いで政策・施策・事務事業を立てて、計画を網羅した事務事業を行い、そこでPDCAで回していくことを実施しております。</p>
会 長：	<p>私も作る時に委員になっておりましたが、まずやってみよう、というものがあつたと思います。今までやってきたことが無にならないように次の計画でやってもらわないと報われれないと思いますので。</p>
事務局：	<p>この基本計画の一番の成果は「阿賀野ドリームプロジェクト」が出来たことだと思います。それが全て今の活動に紐づいて関与されているので非常に成果があつたと思います。</p>
C 委員：	<p>私は農業のことしかわかりませんが、学校給食などに地元の農産物を使ってもらっているのは聞いていますが、市の特徴を生かしてぜひ前に進んでもらいたいと思います。特に笹神のほうは環境保全型農業に取り組んでいます。今は学校給食で特産米を使ってもらっていますが、これから国のほうは「みどりの食料システム戦略」を進めていくと言っており、有機を全体の25%に増やしていくと言っています。そのようなことが始まっているので、特産米ではなく有機のものを学校給食で食べてもらう必要があるのではと思います。目標に向かって先のことを考えて取り組んでいてもらいたいです。</p>
事務局：	<p>言われた通り目標に向かってやりながら、PDCAで回していくべきであり、有機の件も当然農林課にも情報は入っていると思います。</p> <p>学校給食ということで、安田小学校では地元産の食材を取り入れて、表彰されています。一つのステップになるのではないのでしょうか。</p>
D 委員：	<p>先ほどから他の委員からも出ていますが、総合計画と基本計画があり、総合計画には目標値などが記載されているということですが、目標を達成するためのアクションプランも必要かと。これをすれば目標をクリアできるというような、ワークショップなどの具体的な計画があるとよいのでは。また、似たような計画は一緒にしてしまったほうがよいかと思います。</p>
事務局：	<p>また、この会議はあと何回ほど予定されていますか。</p> <p>今年度はあと一回予定しています。</p>

D 委員 :	<p>分かりました。</p> <p>あと質問なのですが、はじめのいっぽという女性グループがやっている新潟市古町の「たからや」で阿賀野市産の食材を使ったメニュー提供、初めて知りました。今はやっていないのでは？</p>
事務局 :	<p>期間限定でやっていたものです。</p>
事務局 :	<p>平成 26 年以前の報告で乗せさせていただいたものです。</p>
D 委員 :	<p>今の状況も記載されたほうがよろしいのでは。</p>
事務局 :	<p>その通りですね。先ほど説明のあった米粉うどんと豆乳を使った「白鳥美人」もかつては盛り上がりましたが、今提供しているのは一店舗のみでトーンダウンしています。取り組んだ事例として紹介しています。</p>
会 長 :	<p>先ほど事務局からお話がありましたが、次回についてこの計画を続けるのかどうするのか。</p>
事務局 :	<p>次回開催までに事前に資料を配布しまして、今の現状が分かるような資料を用意します。それから開催したいと思います。</p> <p>これまでの取組みについて、何か意見はありますか。</p>
B 委員 :	<p>別紙の「将来目標値に対する実績値」ということで、現状目標値に届いていない数字については、どういう認識をされているのでしょうか。</p> <p>抑制するという目標を掲げながらそれよりも下がってしまったのはどうしてか、という分析が必要なのではないのでしょうか。これからでしょうか。</p>
事務局 :	<p>総合計画に将来目標値と成果目標を掲げています。例えば製造業の従業者数は平成 20 年から平成 30 年にかけて減少しているものの、製造品の出荷額は伸びています。市内の事業者の数も減少していますが生産効率を上げた中で出荷額は上がっており、その分析も総合計画の中で載せています。</p>
B 委員 :	<p>ありがとうございます。農業関連でいうと経営耕地面積が目標に対して下がっています。おっしゃったように、下がったからダメというわけではありません。農業産出額、市で毎年出しているのかわかりませんが、産出額は増えています等。県でも農業振興関連で言うと目標は農業産出額のアップを目指しています。日々分析をしながらどうしてこうなったか、などの見直しをして次の計画につなげていければよいのかなと思います。</p>
会 長 :	<p>我々から見てもちょっとがっかりな数字。しかもコロナ前。分析もやっぱり大事ですね。</p>
事務局 :	<p>市でも商工リサーチなどに出せればいいですが、現状では統計しか利用できていません。</p>
会 長 :	<p>他に何か意見はありますか。</p>

B 委員 :	<p>農業分野で言えば、「米」の農家数が多く、生産額も大きい。阿賀野市は新潟県酪農発祥の地であり、せっかくある資源だと思いますが、米と畜産の連携、思ったよりも進んでいません。地区単位で言えば笹神地区は昔から耕畜連携に取り組んでおられて、米もブランドとして育てているし、堆肥などもうまく生産されています。循環型耕畜連携を掲げており、市全体でやっていると思いました。他の地域は思ったよりも進んでいません。</p> <p>せっかく畜産農家があるので、市全体で進めていけば、先ほど C 委員が言っていた「みどりの食料システム戦略」にもマッチしてくるのではないのでしょうか。</p> <p>農業以外の分野でも言えますが、他の市町村の取組みを真似をしているだけではジリ貧になってくるので、市独自の取組みを打ち出していくことが大切になってくると思います。</p>
会 長 :	<p>先ほど話にも少し出ていましたが、阿賀野市にもうすぐ道の駅ができます。私と D 委員も道の駅の会社の取締役をやっており、目玉は何ですかとしきりに聞かれますが、枝豆の「えんだま」にしてくれと言われる。また最近言われている SDG s について持続可能な開発目標ということで、色々やってきて息切れしていますが、我々にはぴったりだと思っています。</p> <p>一通り審議が終わりましたので、事務局にお返しします。</p>
事務局 :	<p>今回は先ほど申し上げたとおり年明けに開催したいと思います。今回は産業経済振興基本計画の今後の方針について話したいと思います。皆さん貴重なご意見をありがとうございました。</p>

問い合わせ先

商工観光課

TEL : 0250-62-2510 (内線 2350)

E - Mail : syokokanko@city.agano.niigata.jp